

令和6年度決算審査における「議会の評価」
への令和8年度予算対応等について

令和8年2月

1 評価対象

① 評価対象事業	事業名	ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費			
	決算額	17,344 千円	予算額	当初 10,232 千円 最終 17,438 千円	
② 選定理由	<p>ふるさと納税制度のもと、全国的には、より多くの寄附金を集めるために返礼品競争が続き、農水産物など特産品を持たない多摩市など都市部の市町村では、結果的に大幅な税収減が続いている。特に地方交付税不交付団体の多摩市では、減収額に対する国からの補てんがない。</p> <p>これらの現状をふまえ、現行制度のもとでの多摩市の税収増の取り組みについて、2023(令和5)年度に担当所管をそれまでの企画課から経済観光課に変え2年目に入った2024(令和6)年度の事業を中心に、その効果を調査・検証・分析する。</p> <p>その上で、寄附制度本来の趣旨をふまえ、返礼品競争に陥らないかたちでの税収増にしていくための方向性を探る。また、現行のふるさと納税制度そのものについても課題意識をもちながら、調査を進めていく。</p>				

2 来年度予算編成に向けての指摘・ポイント

ふるさとTAMA 応援寄附金管理 運営経費	<p>(1)「市外在住の個人からの寄附件数」を増やすために、今後も、市民や市内事業者(京王、サンリオ、ベネッセ、日本アニメ、地元の老舗店、街づくりを共に行っている事業者など)と一緒に企画を考え、「魅力的な返礼品」メニューを増やすべき。</p> <p>(2)上記の返礼品メニューのなかに、人気アニメを活用して、聖地巡礼、写真撮影会・お誕生日会など特別感を味わえる企画、体験型などを加えることの検討を。</p> <p>(3)サイト上での返礼品のサムネイル(一覧表)の見せ方など、納税者の視点で分かりやすい工夫を。</p> <p>(4)ポータルサイトの活用については、業務内容や費用対効果を常に意識しながら臨んでもらいたい。</p> <p>(5)「ふるさと納税」制度の本来あるべき姿として、単なる返礼品競争に陥らないように、市外からの母校・図書館・自治会・市民団体等への寄附ができる道筋を検討すべき。また、寄附行為を通じて、多摩市のファンになってもらう仕組みづくりを。</p> <p>(6)決算カルテの書き方として、「市の魅力発信、来街促進と産業振興」に寄与する事業であることがわかる具体的な目標と成果を記載すべき。</p>
-----------------------------	---

評価対象事業	ふるさと TAMA 応援寄附金管理運営経費	
議会からの指摘・ポイント	指摘・ポイントに対する取り組みの考え方	新年度予算対応
<p>①「市外在住の個人からの寄附件数」を増やすために、今後も、市民や市内事業者（京王、サンリオ、ベネッセ、日本アニメ、地元の老舗店、街づくりを共に行っている事業者など）と一緒に企画を考え、「魅力的な返礼品」メニューを増やすべき。</p> <p>②上記の返礼品メニューのなかに、人気アニメを活用して、聖地巡礼、写真撮影会・お誕生日会など特別感を味わえる企画、体験型などを加えることの検討を。</p> <p>③サイト上での返礼品のサムネイル（一覧表）の見せ方など、納税者の視点で分かりやすい工夫を。</p> <p>④ポータルサイトの活用については、業務内容や費用対効果を常に意識しながら</p>	<p>①現在、市では、市内事業者からの返礼品の公募や、返礼品に関する市民からのアイデアの募集を行っています。今後も市民や市内事業者と一緒に、返礼品の企画等を検討・調整し、魅力的な返礼品のメニューを増やしていきたいと考えています。</p> <p>②ふるさと納税の返礼として、現在も返礼品だけでなく体験型の役務提供も行っているところです。人気アニメやキャラクターの使用や出演のほか、施設等での事業実施については、それぞれ権利をお持ちの方の承諾等が必要になるものもありますが、今後も引き続き、どのようなことが可能かを検討・調整していきたいと思えます。</p> <p>③サイト上での返礼品のサムネイルは、ふるさと納税返礼品を提供してくださる事業者等が、ポータルサイト運営会社のルールに基づき作成し公表しているところです。今般、サムネイルを分かりやすくした方が良いとのご意見をいただきましたので、各事業者にお伝えし、一部のサムネイルを変更しました。今後も寄附者にとって分かりやすい工夫を行っていきます。</p> <p>④ふるさと納税制度が普及し、件数・金額ともに拡大している中で、大部分の自治体がポータルサイトを活用し、ふるさと納税</p>	<p>①既存予算で対応</p> <p>②既存予算で対応</p> <p>③既存予算で対応</p> <p>④既存予算で対応</p>

<p>臨んでもらいたい。</p> <p>⑤「ふるさと納税」制度の本来あるべき姿として、単なる返礼品競争に陥らないように、市外からの母校・図書館・自治会・市民団体等への寄附ができる道筋を検討すべき。また、寄附行為を通じて、多摩市のファンになってもらう仕組みづくりを。</p>	<p>を受け付けています。ポータルサイトを活用しなかった場合、本市の公式ホームページからの受付が考えられますが、それでは、ふるさと納税を検討されている方へのPRが弱く、ふるさと納税に関する画面を見ていただくことも難しいと考えています。そのため、閲覧件数や納付実績の多いポータルサイトを活用し、今後もふるさと納税をPRしていきたいと考えています。なお、本市が契約しているポータルサイトは、契約時に登録のための基本料金が発生しますが、その後は、ふるさと納税が行われた場合にのみ経費が発生するものです。また、返礼品の発送業務については、ポータルサイト運営会社1社が取りまとめ行っています。</p> <p>令和7年度は3つのポータルサイトと契約をしていますが、令和8年度においては、閲覧件数の多い別のポータルサイト運営会社1社を追加し、さらに本市のふるさと納税の返礼品をPRするとともに、ふるさと納税の増収も目指したいと考えています。</p> <p>⑤いただいた寄附金は、これまでも指定された分野や事業に活用してきましたが、例えば「互いに支え合うまちをつくるための事業」を選択された場合に、多摩市が目指す協創の実現に向けた「地域協創市民活動事業補助金」に活用するなど、寄附金が市民の新たな事業実施の支援に直接活かされる道筋を検討します。</p> <p>そのうえで、寄附を通じて実施された事業等をわかりやすく伝えていくことで、資金面での市民協働をさらに進めていきたいと考えています。</p>	<p>⑤既存予算で対応</p>
--	--	-----------------

<p>⑥決算カルテの書き方として、「市の魅力発信、来街促進と産業振興」に寄与する事業であることがわかる具体的な目標と成果を記載すべき。</p>	<p>⑥令和8年度の予算カルテから、「今年度の目標」の欄に、具体的な取組予定を記載するとともに、各年度の決算カルテの「目指す事業の成果」の欄に、取組んだ内容や成果について記載します。</p>	<p>⑥既存予算で対応</p>
---	---	-----------------

1 評価対象

① 評価対象事業	事業名	一般介護予防事業(一般会計)				
	決算額	9,966 千円	予算額	当初 最終	10,879 10,377	千円
② 選定理由	<p>多摩市では平成28年度にそれまでの介護予防等事業が一般介護予防事業として再編され、令和6年度からは重層的支援体制整備事業の開始に伴い事業の一部が特別会計から一般会計へと移行された。</p> <p>多摩市の一般介護予防事業について、その対象が第1号被保険者の全ての者及びその支援のための活動に関わる者となっているか、社会参加や地域づくりにどのように寄与しているか、重層的支援体制整備事業の現状と、地域住民や関係機関、他の事業との関連性はどのようになっているか、などについて調査し、これからの多摩市の高齢化への対応と介護予防について議論を深めていく。</p> <p>なお、決算事業評価としては一般会計の一般介護予防事業を分科会評価対象事業として行うが、介護保険特別会計における一般介護予防事業についても一体的に行われているものとして決算事業評価の議論の対象の範囲とする。</p>					

2 来年度予算編成に向けての指摘・ポイント

一般介護 予防事業 (一般会計)	<p>(1)近所de元気アップトレーニング等の会場の確保の支援や、指導者の交通費など、金銭的な負担軽減を検討して頂きたい。</p> <p>(2) 高齢化が進み、65歳を過ぎても就労する方が増える中で、リーダー不足が考えられるので、健幸まちづくりや協創推進室とも連携して、大学生や現役世代等を講師に迎える取り組みを進めて頂きたい。例えば、介護予防リーダー養成講座や近所de元気アップトレーニングを平日だけでなく、土日の開催も検討して頂きたい。</p> <p>(3)参加者数の目標は達成されているが、更に広く参加者が増加するように、特に課題である男性の参加者率の低さを改善する取組を求める。</p> <p>(4)介護予防事業の成果を数値化して可視化する取り組みの検討を求める。</p>
------------------------	--

評価対象事業	一般介護予防事業（一般会計）	
議会からの指摘・ポイント	指摘・ポイントに対する取り組みの考え方	新年度予算対応
<p>①近所 de 元気アップトレーニング等の会場の確保の支援や、指導者の交通費など、金銭的な負担軽減を検討して頂きたい。</p> <p>②高齢化が進み、65歳を過ぎても就労する方が増える中で、リーダー不足が考えられるので、健幸まちづくりや協創推進室とも連携して、大学生や現役世代等を講師に迎える取り組みを進めて頂きたい。例えば、介護予防リーダー養成</p>	<p>①高齢者の通いの場である「近所 de 元気アップトレーニング」等の会場の確保については、新規立ち上げの時には、職員や介護予防・フレイル予防推進員等が、会場探しから定期的に確保する方法を住民と一緒に検討するなど、伴奏支援をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、定期的な確保が難しい場合には、必要に応じて会場の管理者と調整を図るなど、より良い方法で実施できるよう支援に努めています。 ・地域介護予防教室の運営及び指導に当たっている介護予防リーダーの交通費については、運営に当たる介護予防リーダーが不足しており、65歳未満の介護予防リーダーが定期的に応援に入る場合には、その交通費を地域介護予防教室活動支援事業補助金の対象経費として認めています。 ・今回の決算事業評価や介護予防リーダー、介護予防ボランティアポイント活動者からの声を踏まえ、その上限額や対象者の拡大について検討し、より活動に参加・継続していくことのできる仕組みの構築を目指してまいります。 <p>②介護予防リーダー養成講座は開始から10年以上が経過し、介護予防リーダーの高齢化や定年延長等により、就労する高齢者が増えることで、地域活動の担い手不足が課題となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後庁内関係課との連携を強めていくとともに、若い世代の参画の機会を拡大していけるよう努めてまいります。 ・またご指摘の介護予防リーダー養成講座 	<p>①既存予算で対応</p> <p>②既存の事業で対応</p>

<p>講座や近所 de 元気アップトレーニングを平日だけでなく、土日の開催も検討して頂きたい。</p> <p>③参加者数の目標は達成されているが、更に広く参加者が増加するように、特に課題である男性の参加者率の低さを改善する取組を求める。</p>	<p>は現在、外部機関に委託していることから、土日の開催は難しい状況ですが、より多くの方に機会提供できるよう、例年水曜日に開催していたものを今年度は火曜日に変更し実施しております。</p> <p>・「近所 de 元気アップトレーニング」は、実施日は活動団体が決めるため、現在土曜日に活動している団体もある状況です。活動支援には地域のリハビリテーション専門職や地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネーターが入っておりますが、日曜日は各所休日となることから支援にあたることは難しい状況です。ご指摘を踏まえ、今後も可能な限り団体の意向に合わせて支援を実施できるよう努めてまいります。</p> <p>③介護予防事業に参加する高齢者数は、コロナ後、回復してきています。</p> <p>・毎年数団体が立ち上がっていますが、地域介護予防教室では満員のところもありますので、さらに多くの高齢者が参加できるように、高齢者の通いの場の取組みについて検討してまいります。</p> <p>・その中で男性の参加率が低迷している課題は以前より認識しております。男性高齢者では、趣味活動や体操の場など通いの場に集まって仲間をつくるというよりは、シルバー人材センターの登録状況などをみても、明確な役割を持った活動を好む方が多い傾向にあるものと考えております。</p> <p>・個々のニーズにあった活動の中で地域とのつながりを作り、生きがいを持って生活することが介護予防につながるものと考えられますので、多様な機会を提示していく</p>	<p>③既存の事業で対応</p>
--	--	------------------

<p>④介護予防事業の成果を数値化して可視化する取り組みの検討を求める。</p>	<p>必要があるものと考えております。</p> <p>そのため、生活支援体制整備事業による活動の把握や創出を進めるとともに、それらの情報を発信することで、男性高齢者が選択でき、何らかの活動につながるよう努めてまいります。</p> <p>④現在、本市の介護予防事業については、学識経験者や医師、歯科医師、生活支援体制整備事業における第1層生活支援コーディネーター・地域包括支援センター等を委員とした「一般介護予防事業評価委員会」で事業評価を行っています。</p> <p>・これまでは事業の実施回数や参加人数等のアウトプットを中心とした評価を行ってまいりましたが、健康状態が維持改善できているかなど、アウトカムにも視点を向けた評価を実施していくため、評価指標の検討を進めています。</p>	<p>④既存予算で対応</p>
--	--	-----------------

1 評価対象

① 評価対象事業	事業名	公園管理経費			
	決算額	806,431 千円	予算額	当初 804,345 最終 839,632 千円	
② 選定理由	<p>ニュータウンができてから50年が過ぎ、それぞれの公園が更新時期を迎える中、安全確保を第一に、今後の公園の管理をどのように進めていくのかが課題と思っている。「愛でるみどりから関わるみどりへ」のコンセプトで様々な取組みを進める中で、令和6年度の取組みを調査し、今後の進め方について検討したい。</p>				

2 来年度予算編成に向けての指摘・ポイント

公園管理経費	<p>(1)ワークショップや社会実験の取組み成果として、公園機能の再編について効果があまり感じられない。費用対効果を考え、事業者との連携を密にし公園再編を推進してもらいたい。</p> <p>(2)道路管理では、「マイシティレポート」というアプリを活用し、市民が道路の損傷や不具合をスマートフォンで即時に通報できるシステムがあるが、公園管理においても活用を検討してみたい。</p> <p>(3)落枝や倒木被害に対する事前対策について、令和6年度は積雪による倒木被害を受け補正予算を組んだが、事前に同レベルの点検ができるくらいの予算を確保すべきではないか。</p> <p>(4)住民との意見交換を丁寧に行い、利便性等を十分に考慮した上で、必要性の高い場所には、安全・安心で清潔なトイレを整備してほしい。</p> <p>(5)新たに導入された地理情報システム(GIS)を用いて樹木の状態や診断状況の見える化、公園の地図と連動した樹木診断マップの作成について検討してほしい。</p>
---------------	---

評価対象事業	公園管理経費	
議会からの指摘・ポイント	指摘・ポイントに対する取り組みの考え方	新年度予算対応
<p>①ワークショップや社会実験の取り組み成果として、公園機能の再編について効果があまり感じられない。費用対効果を考え、事業者との連携を密にして公園再編を推進してもらいたい。</p>	<p>①令和6年度取組では、ワークショップ・社会実験を踏まえ、遊具から広場への機能転換やトイレの再編・機能向上といった施設整備を実施するとともに、ソフト面においては、キッチンカーの出店を可能とする条例改正を行い、イベント開催などの賑わいづくりにつながる運用づくりに取り組んできました。</p> <p>実際、キッチンカーの出店は増えており、社会実験で実施したコンテンツを他の公園でも展開するという出展者も出てきています。</p> <p>また、「誰かがやってくれないとできない」というのではなく、利用者が誰しも好きなきときにそれぞれの利活用ができる仕組みづくりとして、今年度はドックランの自由解放という試験的な取組を施行しています。</p> <p>一方、これまで取り組んできたなかでは、利用者や地域の「やりたい」を引き出し、それを形としていくためには、こちらからの仕掛けづくりやアイデア、利用者・地域との丁寧なコミュニケーションの重要性を痛感しており、毎年2地区ずつ進めるというペースでは、これらの十分な取組みが困難でした。</p> <p>そのため、新年度予算では1地区分の実施予算を計上し、より腰を据えて更なる事業効果を出せるよう取り組んでまいります。</p>	<p>①既存予算で対応</p>
<p>②道路管理では、「マイシティレポート」というア</p>	<p>②現状、「マイシティレポート」からは公園緑地に関する投稿も入っており、道路交</p>	<p>②既存予算で対応</p>

<p>プリを活用し、市民が道路の損傷や不具合をスマートフォンで即時に通報できるシステムがあるが、公園管理においても活用を検討してみたいかがか。</p> <p>③落枝や倒木被害に対する事前対策について、令和6年度は積雪による倒木被害を受け補正予算を組んだが、事前に同レベルの点検ができるくらいの予算を確保するべきではないか。</p> <p>④住民との意見交換を丁寧に行い、利便性等を十分に考慮した上で、必要性の高い場所には、安全・安心で清潔なトイレを整備してほしい。</p>	<p>通課から速やかに共有が図られ対応にあっているところですが、よりオープンに投稿を受け入れることができるよう検討を進めます。</p> <p>一方、年々職員数が減少し、当課も慢性的な欠員状況にあり、速やかな対応が大変困難といった課題もあり、こうした対応体制のあり方も含め、検討する必要があると考えています。</p> <p>そうしたことから、取り組んでいる包括的民間委託の導入に向けた調査検討のなかで、本アプリの活用を含め、市民からの事業者への直の通報やそれに対する即時の対応のあり方も検討しているところです。</p> <p>③令和6年度及び7年度で、道路沿いや人通りがある園路沿いにある老木化・大径木化した樹木の診断を行いました。公園緑地内にはこの他にも非常に多くの樹木があり、これら全てを診断していくことは、費用・労力的に大変困難です。</p> <p>そのため、職員や普段公園緑地を管理している事業者に樹木診断や点検にかかる専門講座を受講してもらい、その知識やノウハウを自ら取得し、日常的な点検に生かしていくことで、持続可能な診断・点検体制の構築を目指します。</p> <p>④令和6年度の実績結果を踏まえ、今年度は、トイレ再編によるメリットや、設備の数を今後のずっと維持していくことの困難さを根気強く説明することに努め、これにより、理解を示していただいた方も多く、丁寧な説明・意見交換の必要性は認識しております。</p>	<p>③諸管理業務委託料に計上（内容としては職員育成の観点として樹木診断点検育成委託料で計上） (251千円)</p> <p>④既存予算で対応</p>
--	--	---

<p>⑤新たに導入された地理情報システム(GIS)を用いて樹木の状態や診断状況の見える化、公園の地図と連動した樹木診断マップの作成について検討してほしい。</p>	<p>一方で、職員数も非常に限られている現状においては、これまでのような毎年2地区での実施は、丁寧な取組が非常に困難です。そのため、①同様、新年度予算では1地区分の実施予算を計上し、より丁寧に進めていくようにします。</p> <p>⑤地理情報システム上での樹木の状態や診断状況の見える化については、多額の経費を要するとともに、状態の変化や診断の実施によって情報の更新も必要になってくることから、継続的な費用が必要にもなってくることから、大変困難な状況です。</p> <p>また、樹木に関する情報もシステムの地図上にまでは落ちておらず、平面図の中で見えれず、情報の見やすさやアクセスのしやすさについては現実的でない状況もあります。</p> <p>一方で、診断結果のホームページ上での公表や、③での診断・点検結果の現地樹木そのものへの分かりやすい掲示など、より分かりやすい伝え方があるので、検討のうえ実施してまいります。</p>	<p>⑤既存予算で対応</p>
---	--	-----------------

1 評価対象

① 評価対象事業	事業名	多摩市立複合文化施設等管理運営事業			
	決算額	406,659	千円	予算額	当初 401,835 最終 407,701 千円
② 選定理由	<p>「多摩市みんなの文化芸術条例」において「地域の文化芸術活動の拠点施設」と位置付けられた多摩市立複合文化施設(パルテノン多摩)については、多摩市議会としても大規模改修にあたって特別委員会で議論を重ね、コスト面や多摩中央公園・中央図書館との連携など課題についても指摘してきた。</p> <p>リニューアル後3年が経過した新たな管理運営の中で、改修時の課題や目指していた新たな機能等の成果について調査・検証を行う。</p>				

2 来年度予算編成に向けての指摘・ポイント

多摩市立複合文化施設等管理運営事業	<p>中央図書館、多摩中央公園といった周辺的环境整備が完了した。多摩市みんなの文化芸術条例で規定された「地域の文化芸術活動の拠点としてみんなの広場になるとともに、文化芸術の振興ひいては地域経済の活性化に寄与する施設」の実現に向けて取り組みを進める必要がある。</p> <p>【令和6年度の目標】については賛同するところ、以下具体的に指摘する。</p> <p>(1)「音楽、演劇、古典芸能などバランスの取れた文化事業の実施」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公演内容については、より市民に身近な演目も選定するとともに、実施主体の多様性を担保すべき。 ② 未就学児や親子での公演鑑賞について検討すべき。 ③ 現在、行われていない映画事業については市民文化団体との協力で実施に向けた検討をすべき。 <p>(2)「施設利用者の新規獲得に向けた取り組み(一般開放、貸館営業、中央図書館との連携)の実施」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① クラフトラボおよびキッチンラボの稼働率が著しく低い。抜本的な改善を求める。 ② キャンセル料が発生するタイミングなど予約システムの見直しや公演・貸館の当日割引などの工夫を求める。 ③ 多摩中央公園、中央図書館との連携と回遊性の充実を図り、オープンスペースの利用促進を求める。 ④ 2階部分について、めざす社会包摂機能を有する施設としての姿が見えない。より具体的な取り組みを求める。 ⑤ 文化施設としてトイレの充実が必要。温水洗浄便座の設置を求める。 ⑥ 市民学芸員との共同で行っている回廊展示については高く評価できるものであり、しつらえの見直しや周知の充実でより活かすことを求める。 <p>(3)「ホール施設における主催事業以外のイベントに関する広報の充実」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「パルテノン多摩NEWS」の配布の工夫・拡充が始まっている。公演関係以外の情報についても周知するべき。 ② SNSでの発信については、主催事業以外の情報も、より充実すべき。 ③ 舞台芸術系アウトリーチ型事業の取り組みを強化するべき。 ④ 多様な市民の活動と連携し、ワークショップやアウトリーチ事業を通じて、文化を創造し、文化芸術活動の場となる取り組みの推進を求める。 <p>以下、博物館機能について指摘する。 博物館機能については、ひとつの柱となる事業にもかかわらず目標なども設定されていない。位置づけを明確にし、取り組みの推進を求める。</p>
-------------------	--

評価対象事業	多摩市立複合文化施設等管理運営事業	
議会からの指摘・ポイント	指摘・ポイントに対する取り組みの考え方	新年度予算対応
<p>①「音楽、演劇、古典芸能などバランスの取れた文化事業の実施」について公演内容については、より市民に身近な演目も選定するとともに、実施主体の多様性を担保すべき。</p>	<p>①市としても、多様なジャンルを取り入れることを重視し、指定管理者と協議してきたところです。引き続きバランスに配慮しつつ、より市民に身近なニーズを踏まえた演目選定に努めるよう指定管理者と協議してまいります。また、主催のみならず、様々な実施主体との共催・提携や協力によって文化事業を実施する点についても努めるよう協議してまいります。</p>	<p>①既存予算で対応</p>
<p>②未就学児や親子での公演鑑賞について検討すべき。</p>	<p>②子育て世代に開かれた事業の重要性は認識しており、今後は、親子で鑑賞できる企画や未就学児を対象としたプログラムがより取り入れられるよう、指定管理者と協議してまいります。</p>	<p>②既存予算で対応</p>
<p>③現在、行われていない映画事業については市民文化団体との協力で実施に向けた検討をすべき。</p>	<p>③指定管理者と映画事業を実施する市民文化団体との協働について、団体の主体性や意向を尊重しつつ、指定管理者が主体的に検討を進められるよう、指定管理者と市民文化団体に働きかけてまいります。</p>	<p>③既存予算で対応</p>
<p>④「施設利用者の新規獲得に向けた取り組み（一般開放、貸館営業、中央図書館との連携）の実施」についてクラフトラボおよびキッチンラボの稼働率が著しく低い。抜本的な改善を求める。</p>	<p>④クラフトラボおよびキッチンラボの利用促進については、市としても課題を認識しています。</p> <p>クラフトラボについては、改修前は、事業関係の作業スペースとして使用されていた部屋を有効的に活用するために貸室化しています。貸室としての利用の見直しを含め、現在活動の幅を広げている市民学芸員などの活動や作業の拠点としての活用も視野に、位置づけの検討を行ってまいります。</p>	<p>④既存予算で対応</p>

<p>⑤キャンセル料が発生するタイミングなど予約システムの見直しや公演・貸館の当日割引などの工夫を求める。</p> <p>⑥多摩中央公園、中央図書館との連携と回遊性の充実に図り、オープンスペースの利用促進を求める。</p>	<p>キッチンラボについては、会議室での飲食・飲酒が可能となったことを踏まえ、ケータリング料理の仕上げや配膳前準備、水場としての活用など、多様な利用方法を提案できるよう、指定管理者に助言してまいります。</p> <p>また、いずれの施設においても今後、利用実態や市民ニーズを踏まえた改善策の検討を指定管理者に指示し、利用促進を進めてまいります。</p> <p>⑤キャンセル料の設定につきましては、単に収益確保の観点からではなく、複数のホールを同時に申し込み、希望に合った方だけを利用して片方をキャンセルするという事態を防ぐために設けています。これは、施設を利用したい市民の公平な利用機会を守るための仕組みです。また、諸室のキャンセル料についても、利用者のご負担軽減と施設運営の安定確保、双方の観点を踏まえたバランスが求められます。</p> <p>具体的なキャンセル料の発生時期や料率、また割引制度の有無といった利用条件の詳細は、いずれも利用実態や市民ニーズを踏まえ、指定管理者が条例の定めに基づき主体的に判断しているところであり、市としては、利用の公平性と利便性の両立が図られるよう、必要に応じて指定管理者と課題を共有し、協議してまいります。</p> <p>⑥周辺施設との回遊性は、多摩センターの賑わい創出と複合文化施設の価値向上に資する要素と捉えています。多摩中央公園を中心とする多摩センター地区における賑わいと回遊性を促し、多摩センター地域の活性化に寄与するため設置された多摩中央公</p>	<p>⑤既存予算で対応</p> <p>⑥既存予算で対応</p>
---	---	---------------------------------

<p>⑦ 2階部分について、めざす社会包摂機能を有する施設としての姿が見えない。より具体的な取り組みを求める。</p>	<p>園・多摩センター連携協議会の構成員同士である、多摩中央公園、中央図書館、近隣大学等とともに、指定管理者が、共同イベントや情報発信の連携など相互に人の流れを生む取組を実施しています。</p> <p>また、そうした取組において、来訪者の動線は季節・天候・曜日により変化することから、パルテノン多摩・中央図書館・多摩中央公園がそれぞれの機能を補完し合う関係を形成しています。</p> <p>市としても、こうした枠組みを活用しながら、多摩中央公園を核としたエリア全体の魅力と回遊性の向上に向けて、どのようなことが必要かを、関係所管課と現場の関係機関が一体となって協力し、オープンスペースの利用促進にもつながるよう、調査研究を進めてまいります。</p> <p>⑦市としても、改修したパルテノン多摩が、社会包摂機能を発揮していくことが重要であると考えております。特に2階部分については、大ホール・小ホールといった舞台芸術の拠点にとどまらず、ミュージアムやオープンスタジオを活用し、特別展をはじめ多彩な事業を展開しております。オープンスタジオでは、財団が行う企画に加え、市が主催する平和展、エコフェスタ、小中学校連合同画工作展なども開催され、多くの市民にご利用いただいております。また、4階の子ども広場とも連携した取組や自動演奏楽器の定期演奏会など、世代を問わず気軽に楽しみ、学び、交流できる取組も行っております。</p> <p>こうした取組を積み重ねることで、パルテノン多摩は、劇場や音楽堂を「舞台芸術の鑑賞の場」ととどめず、「人々が集い、交</p>	<p>⑦既存予算で対応</p>
---	--	-----------------

<p>⑧文化施設としてトイレの充実が必要。温水洗浄便座の設置を求める。</p>	<p>流し、学び合う広場」として機能するものと考えております。今後に向けては、催しの充実に加え、ソファやテーブルの増設など居心地に配慮した空間整備についても検討してまいります。</p> <p>⑧市内の公共施設では、一定の基準に基づきトイレの整備が進められており、温水洗浄便座はその基準に含まれておりません。そのため、パルテノン多摩では、大規模改修工事において、バリアフリートイレに温水洗浄便座を設置している状況です。</p> <p>また、パルテノン多摩のトイレについては、リニューアルオープンに際して暖房便座が設置されておりますが、温水洗浄便座の新たな設置には、現在使用可能な暖房便座の撤去が必要となり、設置済みの暖房便座の耐用年数(10年)を考慮し、当面は更新を避ける必要があります。</p> <p>しかしながら、パルテノン多摩は非日常的な体験やエンターテイメントを求めて訪れる施設であり、地域外からも多くの方々から来館されています。こうした施設の特性を踏まえ、利用者の快適性を考慮し、温水洗浄便座の導入については、今後の整備状況や設備更新の時期等を踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p>	<p>⑧既存予算で対応</p>
<p>⑨市民学芸員との共同で行っている回廊展示については高く評価できるものであり、しつらえの見直しや周知の充実でより活かすことを求める。</p>	<p>⑨市民学芸員と連携した回廊展示は、地域に根ざした視点や多様な解釈を取り入れることができる点で大きな意義があると認識しています。市としても市民の主体的な活動を通じて展示内容が広がり、施設全体の魅力を高める取組として高く評価しています。</p> <p>今後は、展示の順路や見せ方について来</p>	<p>⑨既存予算で対応</p>

<p>⑩「ホール施設における主催事業以外のイベントに関する広報の充実」について</p> <p>⑪「パルテノン多摩 NEWS」の配布の工夫・拡充が始まっている。公演関係以外の情報についても周知するべき。</p> <p>⑫SNS での発信については、主催事業以外の情報も、より充実すべき。</p> <p>⑬舞台芸術系アウトリーチ型事業の取り組みを強化するべき。</p>	<p>館者にとってよりわかりやすくなるよう、また周知においてもアイキャッチとなる看板の設置など工夫が図られるよう、市としても指定管理者に助言してまいります。</p> <p>⑩⑪「パルテノン多摩 NEWS」は年 4 回発行しており、主催事業をはじめ、提携・共催事業、貸館による公演情報、ミュージアムでの企画展や特別展、学芸事業、諸室の案内など、幅広い情報を掲載しています。</p> <p>紙面のバランスや構成については、さらなる工夫の余地があると考えており、指定管理者において主体的に工夫が図られるよう、市としても協議を重ねてまいります。</p> <p>⑫本施設に関する SNS での情報発信については、指定管理者において Instagram、X (旧 Twitter)、Facebook 等を活用し、令和 6 年度には 870 件余りの発信が行われています。しかしながら、ご指摘のように主催事業に関する情報が中心となっていたため、提携・共催事業、貸館による公演情報、諸室の案内など、幅広い情報を発信していく必要があります。</p> <p>また、リール動画の活用、地域性を意識したハッシュタグの設定、投稿直後のシェア促進など、フォロワー以外にも届きやすくなるように工夫し、情報発信の充実を図るべく、市としては、今後はこうした観点を踏まえ指定管理者と協議してまいります。</p> <p>⑬⑭本市では、「多摩市みんなの文化芸術振興プラン 2025」に基づき、文化芸術の創造と普及を推進しています。多摩市文化振興</p>	<p>⑩既存予算で対応</p> <p>⑪既存予算で対応</p> <p>⑫既存予算で対応</p> <p>⑬⑭既存予算で対応</p>
--	--	--

<p>⑭多様な市民の活動 と連携し、ワークショップ やアウトリーチ事業を通 じて、文化を創造し、文化 芸術活動の場となる取り 組みの推進を求める。</p> <p>⑮以下、博物館機能につい て指摘する。 博物館機能については、 ひとつの柱となる事業に もかかわらず目標なども 設定されていない。位置づ けを明確にし、取り組みの 推進を求める。</p>	<p>財団を代表とする指定管理者は、市と連携 しながら文化芸術事業を展開していきま すが、ワークショップやアウトリーチ事業に ついては現状では十分とはいえず、課題が あると認識しています。 今後は、さらに、公民館等の社会教育施 設、大学、地域や企業との連携を強化し、鑑 賞者と担い手を結び付ける中間支援の取組 を行うとともに、文化芸術にアクセスしづ らい障害のある方や高齢者などにもアウト リーチによる鑑賞体験の機会を提供し、誰 もが文化芸術に触れることができるよう市 としても支援してまいります。文化芸術拠 点としての機能を高め、市と指定管理者が 一体となって、地域の文化活動の活性化を 図ってまいります。</p> <p>⑮博物館機能は施設の大きな柱の一つであ ると市も認識しているところです。ご指摘 を踏まえ、今後は、市民の皆様や議会に対 して博物館機能に関する事業の目標や位置 づけ、成果について、事業カルテ等で明確 に示しつつ、指定管理者とともに取組を進 めていきます。</p>	<p>⑮既存予算で対応</p>
--	---	-----------------